

医労連速報 '15春闘

2015年1月17日 No2 東京都台東区入谷1-9-5 日本医労連 tel 03-3875-5871



各地方協で2015春闘意思統一

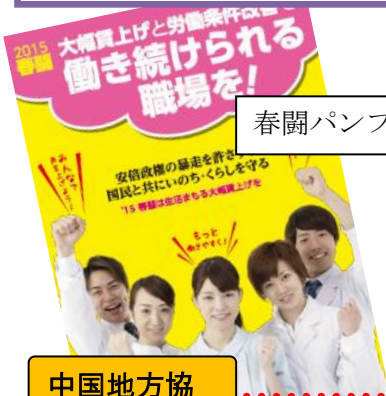


いよいよ春闘がスタート！日本医労連は15春闘方針を1月21日22日の第46回中央委員会で決定しますが、出足早く、関西・中国・九州地方協で春闘討論集会が開催され、日本医労連の提案した正職員平均4万円以上の賃上げ、非正規パートは時給250円以上の要求などの方針が議論され『安倍政権の暴走政治を許さず、大幅賃上げで生活を守り、はたらき続けられる職場を』と15春闘要求実現にむけ意思統一がすすんでいます。

関西地方協

1月12日、大阪グリーン会館で関西地方協春闘討論集会が2全国組合7府県より53名の参加で開催されました。記念講演は、「衆議院選挙後の争点～いのち・暮らし・雇用守る社会保障闘争」と題して、立教大学教授の芝田英昭先生より講演。その後、滋賀民医労から特別報告に続き15春闘構想についての方針提案をうけて、KJ法を用いて討論を行いました。参加者は、自分の要求とその解決策をそれぞれ付箋に書き出し、模造紙に貼り付けてグループ化しながら参加者全員で討論し15春闘に向けての決意がのべられました。

春闘パンフ



中国地方協

1月12～13日、松江市玉造温泉のホテル玉泉で中国地方協春闘討論集会が開催されました。中国5県から121名が参加しました。集会は15春闘の基調、重点課題の取組みが提案され、記念講演として県立広島大学教授都留民子氏より、「社会保障の役割(再考)」と題して講演がありました。特別報告は①青年部のハラスメント調査の結果報告、②山口県の病床機能評価アンケートの取組み、③広島へのNPTに向けて、④全医労における春闘の重要課題について、⑤精神部会から、これからの精神医療の報告がありました。2日目は、①看護増員闘争、②社会保障闘争、③賃金産別統一闘争、④労働組合基礎講座、⑤介護部門闘争で討論が行われ、たたかう意思統一がされました。



統一行動シール

九州地方協

1月10日11日熊本県のアソシエートにおいて九州地方協春闘討論集会が開催されました。全県から60名の参加。15春闘方針について報告を受け、各県から①ストライキを配置してたたかった14春闘(長崎民医労)、②ストライキの経験を絶やさないとりくみ(健和会労組)、③非公務員型独立行政法人化に伴う今後のたたかいについて(全医労九州地方協)、④団体交渉にたくさん参加するのは当たり前(奄美医生協労組)、⑤サービス残業、とりわけ前残業問題をなくすとりくみ(健和会労組)、⑥非正規労働者の賃金労働条件改善のとりくみ(鹿児島医生協労組)が報告され、2日目は民医連生協部会の代表者会議とその他で分科会を開催し、たたかう意思統一の場となりました。

春闘ポスター

